

認知症サポーター養成講座

令和6年 9月28日(土) 午後2時~3時半

小竹図書館 2階会議室

明日のわたしのためだから——。
認知症サポーターになってみませんか？

「認知症の人は何もわからない」と思っていませんか？ 実は、もの忘れがひどくなり、不安いっぱいのご本人が、一番苦しい思いをしています。でも、周囲の人々が認知症を理解して、その人ができない部分を補う「杖」となれば、穏やかに暮らすこともできます。偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間の杖」を増やしていく——。これが、厚生労働省がすすめる「認知症サポーター100万人キャラバン」です。超高齢社会の今、あなたも認知症サポーターになって、暮らしやすい街をつくっていきませんか？

■認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

■認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講すると、「認知症の人を支援します」という意思表示をする「サポーターカード」が手渡され、「認知症サポーター」になることができます。



講師：第2育秀苑 地域包括支援センター
センター長・主任介護支援専門員 下田拓哉氏

定員：20人(事前申込制)

対象：一般(中学生以上)

申込み：小竹図書館カウンターまたは電話にて

☎ 03-5995-1121



※熱中症特別警戒アラートが発出された場合は中止となります。
熱中症警戒アラートが発出された場合も中止の可能性あります。
図書館ホームページ、またはお電話で小竹図書館までお問い合わせください。
熱中症情報は練馬区ホームページ、各種報道機関でご確認いただけます。